

11 走 15:45

第5回 サウジアラビアロイヤルC

1600m芝(良) 1.33.0

ダノンプレミアム 55川田

前半34.5 後半34.4

2017.10.7

良 1.34.0

重 1.35.6

推定

データ分析

前距実

走離績

本命

小波乱

中波乱

首位有力

馬番・種番 父 母 産地 生年月日 馬主 厩舎 競走得点 重賞獲得金

競走得点 重賞獲得金 1 3300万 2 1300万 3 830万 4 500万 5 330万

競走得点 重賞獲得金 1 3300万 2 1300万 3 830万 4 500万 5 330万

競走得点 重賞獲得金 1 3300万 2 1300万 3 830万 4 500万 5 330万

馬券表: 11R 10月5日(土) 晴のち曇<良>(の)稍重~良>見込み

馬券表: 11R 10月5日(土) 晴のち曇<良>(の)稍重~良>見込み

馬券表: 11R 10月5日(土) 晴のち曇<良>(の)稍重~良>見込み

馬券表: 11R 10月5日(土) 晴のち曇<良>(の)稍重~良>見込み

本紙の見聞 《重賞制覇も通過点か》 初戦で圧巻の走りを見せたサリオスが、2週前の追い切りでも1分11秒を記録してハワフルな動きを披露。間違いなく素材的にはGIレベルで、ここも通過点にして更に大きな舞台、そして来年の春へと突き進む。クラヴァシュドールも好位で折り合ったセンズの良さと決め手を兼ね、エンジェルサークルは2戦目を好内容V。

クラヴァシュドール 初戦は上手に立ち回って、凄くいい内容で勝つてくれた。まだ精神的に脆い面があるが、能力的には十分やれている。それでも動き自体は悪くないし、ポテンシャルの高さも前走で証明されている。状態も前回より上り、ここも好レースになりそう。

エンジェルサークル(好馬体目につく) 前走は、前走も少し怖がりな面を見せながら、まだ成長途上の段階か。クラヴァシュドール(好馬体目につく) 初戦は、前走も少し怖がりな面を見せながら、まだ成長途上の段階か。

エンジェルサークル(好馬体目につく) 前走は、前走も少し怖がりな面を見せながら、まだ成長途上の段階か。クラヴァシュドール(好馬体目につく) 初戦は、前走も少し怖がりな面を見せながら、まだ成長途上の段階か。

エンジェルサークル(好馬体目につく) 前走は、前走も少し怖がりな面を見せながら、まだ成長途上の段階か。

前日(4)の走り身診断

①エンジェルサークル 坂路1本。反応良く駆け上がり、フットワークも軽快。  
 ②カッブツチョ 坂路を2本。元気に調整されたが、特に上積みは感じられず。  
 ③サリオス 坂路、A、角馬場。全体に良化の余地を残す仕上げだが、気合乗りは上々。力を出せる態勢。  
 ④ジュラベッジュ 角馬場JW。しっかりとしたキャントで落ち着きもあり、終始バランスのいい走り。  
 (4日 美浦南)

直前情報 急上昇

●サリオス  
 「1日の計量で54.6キ。初戦と同じくらいの体つきだが、気性面の成長を感じる。期待に応えてくれると思う」と森助手。

レースを終えて(騎手インタビュー)

サリオス(2歳新馬①着) 藤岡佑騎手  
 レーン騎手 落ち着いていました。いいスタートを切りましたが、前に馬を置いてレースを経験させました。直線で外に出すと、いい瞬発力でアツという間に先頭に立ちましたし、そこからはクルージングスピード(トップスピード)を持続すること(最後まで走り)で最後まで走り続けました。距離適性などはこれからだと思いますが、能力が高くて将来が楽しみです。馬ですね。

クラヴァシュドール(2)

歳新馬①着 藤岡佑騎手  
 初戦としては非常にいい競馬でした。調教でも動いていたし、流れのなかで少しフワッとしていたけど、直線で外に出して仕掛けてからの反応が良く、抜け出してからもしっかりしていました。距離にも融通が利きそうだし、いろいろな可能性を感じます。

エンジェルサークル(2)

歳末勝利①着 田辺騎手  
 初戦ではソラを使ったようなので、その点に注意していましたが、能力が高い馬で、こちらがゴーサインを出す前に抜け出してしまいました。最後は余裕がありましたよ。

アブソルティスモ(2)

未勝利①着 ルメル騎手  
 今後のためにもいい経験になった。道中は馬群の中で、4角では怖がっていたのでエンジンのかかりが遅

かったけど、差でも着差以上に楽だったね。距離は千六まで保つと思う。

ロードエクスプレス(2)

歳新馬①着 三浦騎手 返し馬から気のいいところを見せていたが、体の使い方にはまだ緩さがありました。それでいて、このパフォーマンスですら走る馬ですね。切れる脚がありますし、1ダウリ距離が延びても問題ありません。楽しみです。

イロゴトシ(ひまわり賞)

①着 小崎騎手 能力の高い馬なので、これも自信を持って臨みました。本質的に千二というタイプではないので、追走の面では忙しかつたですが、勝負どころで取りついてからは、凄く楽でした。徐々に距離を延ばしていけば、これから楽しみです。

ジュラベッジュ(2)

未勝利①着 吉田豊騎手 初戦はスタートが遅くて後方からになりましたが、今日からは出ましたし、もともと気のいいタイプなので、そのままハナを切りました。こんなに体重が減っていると、は思いませんでしたが、カイバは食べているようです。最後までしっかり走ってくれました。

カッブツチョ(アスター)

賞⑤着 江田照騎手 スタートが遅れましたが、競馬を教えたかったんです。道中はポケットで運べたし、最後もよく頑張っています。いい内容だったと思います。

シコウ(アスター賞④着)

木幡巧騎手 具合が良かったので期待していましたが、前が楽に行っていたので強気に走りましたが、最後は少し甘くなりました。結果論ですが、スタートしてルメル騎手についていけば良かったです。

お知らせ

○JRAプレミアム 秋の2歳単勝  
 9月7日(土) 12月15日(日) および、12月28日(土)のJRAの2歳戦  
 一全場・全レース(新馬・未勝利・1勝クラス・オープン計439レース)の単勝を対象に、通常の払戻金に売上げの5%相当額を上乗せして払戻いたします。

【発走と枠入りについて】  
 発走委員が正しい発走でないことを認めるとき以外は、発走のやり直しはいたしません。また、枠入り、枠内での状態が特に悪い馬については、外枠から発走することもあります。